

## 政策推進部 部長マニフェスト

### 私の思い

#### 政策推進部長 松井 久尚



政策推進部は、市長のトップマネジメントを支え、第4次柏原市総合計画に基づいて、柏原市の将来像である『市民が生きいきとしにぎわいにあふれているまち 柏原』の実現を目指すとともに、市長公約である5つの「大阪ナンバー1」及び8本の柱に取り組みます。

限られた財源の中で、多様化し、複雑化する市民ニーズに的確に対応していくため、重点的かつ戦略的な行財政運営を進めるとともに、様々なメディアを活用して積極的に市政情報の公表や広報広聴活動を行い、市民の市政への関心と信頼を高め、市民の視点に立ったサービスを提供します。

また、地域主体の活動を促すため、NPO、大学、地域団体等と連携し、市民協働のまちづくりを目指すとともに、市内各地域での市民と外国人の異文化交流を推進します。

さらに、柏原産（もん）のブランド化を図り、市長のトップセールスや大阪産PR戦略と連携し、柏原市の魅力づくり、魅力発信に取り組みます。

人事政策では、能力給の導入検討をはじめ、「頑張る職員が報われる制度」の構築を目指します。

### 重点目標

- ① 市民の声を反映する行政運営の推進
- ② シティプロモーションの推進
- ③ 市民参加と市民協働のまちづくりの推進
- ④ 柏原市行財政健全化戦略の推進
- ⑤ 公務員制度改革の推進

## 部の施策概要

政策推進部は、「市長のトップマネジメントの補佐」や「全庁的な施策の企画・調整」をはじめ、人事政策、市政の透明化、市民参加と市民協働、市民との情報共有に取り組みます。

### 市長のトップマネジメントの補佐

- ・ 部長会議の定期開催
- ・ 部長マニフェストのPDCA サイクルの点検・管理
- ・ 市政に関する課題等の点検・評価
- ・ 市政情報の発信及び市民との情報共有
- ・ 市長、副市長の行動管理

### 全庁的な施策の企画・調整

- ・ 柏原市の魅力戦略の推進
- ・ 人口増へ向けた定住施策の推進
- ・ 行政改革の推進
- ・ 統計調査

### 市民参加と市民協働

- ・ 柏原市まちづくり基本条例の運用管理
- ・ 地域担当職員制度
- ・ 国際交流の推進
- ・ 防犯対策の推進

### 人事政策

- ・ 職員の人事・給与・服務・福利厚生
- ・ 公務員制度改革の推進

## 市民の声を反映する行政運営の推進

### 戦略課題の目標

#### 取組方針として

迅速かつ分かりやすい市政情報の提供及び市民と行政の情報の共有化と情報交流の活性化を図ります。

### 施策推進上の目標

#### 具体的な取組みとして

公式 facebook を活用し、市民に迅速かつ正確に情報提供を行うとともに、市民の声を吸い上げます。また、まちの見聞特派員制度を開始し、身近な情報を収集し、市民に提供します。

毎月発行している広報「かしわら」をより見やすく、より分かりやすい情報誌へと改良します。

### アウトプット

#### 結果（数値／内容）

- ・まちの見聞特派員記事数：10件
- ・柏原市公式 facebook 「いいね！」登録数目標：1000人
- ・SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）講習会の開催

市の公式ホームページを充実させるとともに、公式 facebook で市民が必要とする情報を迅速かつ正確に提供することで、市民の市政への関心を高めます。

また、まちの見聞特派員から提供される市民目線のまちの出来事や話題を活用することで、まちの魅力情報等を市民全体で共有することが可能となり、市民に誇りと市への愛着を持っていただきます。

### アウトカム

市民の市政への関心と信頼を高め、市民の視点に立ったサービスを提供するとともに、市民主体のまちづくりを推進します。

## シティプロモーションの推進

### 戦略課題の目標

#### 取組方針として

住んでみたいまち「かしわら」、訪れてみたいまち「かしわら」を実現するため、新たに柏原ブランドを構築して柏原市の対外的なイメージ・認知度を向上させるための事業を展開します。

また、行政、市民、企業、各種団体が一体となった事業推進体制を確立します。

### 施策推進上の目標

#### 具体的な取組みとして

柏原ブランドの認定制度を確立し、市長のトップセールスや大阪産 PR 戦略と連携し、柏原ブランドを積極的に売り出すことにより、市外の方や企業の皆様に柏原市に対する関心や憧れ、期待感を持っていただくことで、市民の定住化や商工業の活性化を図ります。

### アウトプット

#### 結果（数値／内容）

- ・市の魅力 PR イベントの開催、PR 広報の展開
- ・大学、関係団体と連携強化、シティプロモーション推進会議の構築
- ・柏原ブランド認定制度の構築と認定商品の選定

柏原市の歴史、自然、新たな柏原ブランドを軸とした魅力発信により、柏原市のイメージアップが図られることで、大阪市内の方や多くの観光客が訪れます。

### アウトカム

市外の方や企業の皆様から選ばれる都市となり、定住人口・交流人口の増大や、商工業の活性化を促進し、柏原市の持続的な発展を目指します。

## 市民参加と市民協働のまちづくりの推進

### 戦略課題の目標

#### 取組方針として

柏原市まちづくり基本条例に基づいて、市民参加と市民協働によるまちづくりを推進するとともに、新たに地域担当職員制度を実施することで、行政と地域の連携をさらに強化します。

### 施策推進上の目標

#### 具体的な取組みとして

各種まちづくり施策については、市民参加や市民協働を実施するとともに、地域との連携強化に努めるため、各地域ごとに担当職員を配置します。また、集会所修繕等補助事業を開始し、地域活動の財政支援を行います。

まちづくりに頑張る自治会・団体補助金制度により、各種団体の公益的な活動を支援します。

### アウトプット

#### 結果（数値／内容）

- ・まちづくりに頑張る自治会・団体補助金制度による公益的な活動への助成事業
- ・市民参加型の審議会の開催及びパブリックコメントの実施
- ・担当職員による地域活動の支援

地域の自主性を最大限尊重しつつ、地域活動の支援を行い、地域コミュニティの活性化及び醸成を促します。それにより災害等に負けない地域のきずなが育まれます。

また、まちづくりに関する施策については、施策実施までの各過程において、市民の市政への参加や市民協働が実現します。

### アウトカム

市民参加と市民協働のまちづくりに向けた住民の機運が高まり、施策目標である『市民が市政に関心を持ち、市民が主体となったまちづくり』の実現につながります。

## 柏原市行財政健全化戦略の推進

### 戦略課題の目標

#### 取組方針として

市民の視点を大切にし、柏原市行財政健全化戦略に基づいて、より積極的な行財政改革を推進することで、多様化する市民ニーズや増大化傾向にある事務量に対応し、市民からの信頼の高い、効率的で効果的な行財政運営を行います。

### 施策推進上の目標

#### 具体的な取組みとして

##### ・職員の意識改革

部長マニフェストを策定し公表することで、全職員が目標を共有するとともに、各職場では、職員による業務改善運動を推進します。

##### ・PDCAサイクルの強化

全ての事務事業において、PDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）の更なる徹底を図ります。

##### ・事務事業の見直し

各部局からの抜本的な事務事業見直し(案)を整理し、事業目的が不明確なもの、事業効果が低いと思われるものについて、廃止を含めた見直しを検討します。

### アウトプット

#### 結果（数値／内容）

職員の行財政改革に対する意識と実行力が高まり、財政の健全化とともに、事務事業の改善が図れます。また、部長マニフェストの実施により、組織マネジメントの強化が図られ、全職員が部局の目標を理解して仕事に取り組むことができます。

### アウトカム

市政運営に対する職員の意識が高揚し、市民と行政の信頼と協働によるまちづくりを進める原動力となるとともに、現場や成果を重視する経営体質への転換が期待できます。

## 公務員制度改革の推進

### 戦略課題の目標

#### 取組方針として

限られた人的資源を最大限に活かすため、様々な人事戦略による人材育成に取組み、職員の職場組織での業務遂行能力を高めるとともに、公務員としての高い倫理観を醸成します。

### 施策推進上の目標

#### 具体的な取組みとして

- ・ 職員のやる気を促し、頑張れば報われるという意識を向上させ、業務遂行能力をさらに高めるため、勤務成績評価を給与に反映させる新給与制度の検討を行います。
- ・ 市民サービス向上のための職員研修を実施し、特に管理監督者に対しては役割の再確認、意識向上を図ります。

### アウトプット

#### 結果（数値／内容）

- ・ 組織が活性化し、職員が仕事に対して、やりがい・プライド・達成感を持つことができます。
- ・ 市民とのコミュニケーション能力向上により、説明責任を果たし、行政施策への理解・協力を得ることができます。

### アウトカム

- ・ 職員のやる気を引き出すことにより、職場組織における業務遂行能力の向上を図り、市民の行政サービス満足度を高めます。
- ・ 市民の市役所に対するイメージを良くし、市民が気持ちよく行政サービスを利用できるようになります。